

選挙の勝ち方教えます

選挙戦の三種の神器といわれる「地盤」「看板」「かばん」。それらを持たない普通の市民が地方議員に当選するノウハウを伝授する選挙講座がある。主催するのは、岐阜県山県市に事務局を置く「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」。二〇〇三年と〇七年の二回の統一地方選では、男女の受講生二十八人中二十二人が愛知や三重県などで当選した。同ネットは、統一選直前になって出馬を決意した人に向け、「駆け込み講座」を十二日に名古屋市内で開催する。

名前の連呼 もう古い？

六日にあった静岡県 知識から始まるが、選挙戦術はいたってシンプル。組織や地盤に頼らずに勝つため「いかりを獲得し、六位で当選した。」

「お金も地盤も何も無い、ただの素人」と印刷物は少しでも有る、秋山さんは、昨年権者の目に留まるよう、七月から月一回岐阜に、色や文字の書体、通い、「市民派議員に大ききまで細かく気遣なるための本」の著者、寺町みどりさんも、スピーカーの音量(金)岐阜県山県市を切った仮の選挙カーと夫で同市議の知正に、乗って岐阜市内を走り、マイクを握って模範演説。傍らで「語尾をもう少しはっきり

岐阜の団体「当選率8割」講座

と「伝えたい事柄は演説の初めに」とみどりさんの注意が飛ぶ。秋山さんは選挙中、名前を絶叫するだけの候補者を横目に、細かく選挙区を回ってまちづくりなどの政策を訴えた。演説は一週間で二百回以上。事務所は自宅に置き、スタッフは市民活動などの仲間や家族の手弁当で、費用もかからなかった。

講座は、政党や組織に縛られず市民目線を持って議員を増やそうと、〇二年に始めた。シを出せば応えてくれ (22) 49891へ。



仮のポスターの前で、寺町さん夫妻に選挙公約などを説明する受講生―岐阜市で

地縁、血縁が強固な地域でも通用するのは、指摘している。

名古屋でも12日に

駆け込み講座は、十

二日と三月五日の連続

性別は問

同ネット―電0581